

B5判160頁/4色刷
定価●2,940円(本体価格2,800円)

照明学会 編

空間デザインのための 照明手法

1. 明るくみせる



照明デザイナー・建築家 必携書 !!

—建物にとってはもちろんのこと、街並にとっても、季節のイベントや町興し村興しにおいても、あるいは災害復興支援プロジェクトにおいても、照明は重要な役割を担うようになっており、日常生活には欠かすことができない存在になっています。照明(あかり)を意のままに扱うことを照明デザインと定義するならば、照明デザインはすっかり市民権を得て、日常生活の中に溶け込んでいます。このことを以てして、「日本の照明デザインは21世紀初頭に成熟期を迎えた」と宣言してもよいと思っています。 — [序]より

本書は、照明デザインの組立て方から照明手法、照明デザイン用語までできるだけ体系化してまとめた、成熟期の照明デザイン書です。

目次 Contents

第1章 照明デザインの組立て方

第一線で活躍している20名の照明デザイナー諸氏が建築家やクライアントとの間で築き上げたパートナーシップの解剖図です。

角館政英/松下美紀/中島龍興・福多佳子/富田泰行/内原智史/東宮洋美・山田圭太郎/面出 薫/岩井達弥/近田玲子・高永 祥/木下史青/武石正宣/森 秀人/小野田行雄・竹山枝里/東海林弘靖/稲葉 裕・鳥居龍太郎/伊藤達男/澤田隆一/戸恒浩人/落合 勉/松下 進
照明デザイナープロフィール
コラム●照明デザインに特別なプロセスはあるのでしょうか?

第2章 空間の見せ方を変える照明手法

空間の見え方は照明で変えられるということを、照明技法と空間演出とを一体化して解説しています。

明るくみせる/軽くみせる/広くみせる/リズムをつくる/にぎやかにみせる/視線を集める/目的地を示す/入口を明示する/動線を強調する/領域を示す/空間をつなぐ/内部と外部をつなぐ/象徴する/PRする/都市にシンボルをつくる/街をわかりやすくみせる
コラム●光源に想う

第3章 人を動かす照明手法

人間行動や人間心理のコントロールにも照明が一翼を担えるということを、さまざまな場面演出のシーンを設定して、そのための照明手法を解説しています。

迎える/誘導する/つまずかせない/安らげる/楽しませる/親密な会話を促す/デスクワークを支える/安心させる/恋を育む/座らせる/行為に反応する/自然の流れに合わせる
コラム●営火

第4章 照明デザイン用語

照明デザイン基礎用語(52項目)を解説し、さらに日常使われている紛らわしい照明デザイン用語を区別し、最後に現在活躍中の照明デザイナー諸氏が照明デザイナーという職業の生命線である照明用語に対してどんな考え方をしているか、また実際の現場ではどのような言葉の言い回しをしているか、デザイナーごとに生の言葉で紹介しています。

1. 基本用語
2. 紛らわしい照明用語
3. 照明デザイナーと照明デザイン用語

コラム●有機EL発光デバイス
●みること・しること・かんじること
●原子砂漠に灯がともる



(株)オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
tel 03(3233)0641/fax 03(3233)3440
http://www.ohmsha.co.jp/